

Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-SX



<http://pioneeardj.com/support/>

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

“TRAKTOR PRO 2”

セッティングファイル インポートガイド

ご使用の前に《重要》

弊社では、Native Instruments社製DJソフトウェア「TRAKTOR PRO 2」専用のセッティングファイルを提供しております。このファイルをインポートすることにより、「TRAKTOR PRO 2」を本機でコントロールできます。

- 「TRAKTOR PRO 2」がインストールされたコンピュータが必要です。
- Windows PCでご使用の場合は、『DDJ-SX 取扱説明書』を参照し、付属のASIOドライバをインストールしてください。
- 本機のボタンで「TRAKTOR PRO 2」を操作するには、別紙の機能対応表(PDFファイル)をご覧ください。

ご注意：

- ・ソフトウェア自体の使用方法に関するお問い合わせは、基本的にお受けできません。インストール時に展開されるマニュアルにてご確認ください。
- ・本セッティングファイルのダウンロードおよびインストールによるいかなる損害について、当社は一切保証いたしません。本セッティングファイルの動作保証は一切保証いたしません。
- ・本セッティングファイルのダウンロードおよびインストールやセッティングファイルの使用に際しては、利用者ご自身の責任において行っていただけますようお願い申し上げます。
- ・本セッティングファイルの仕様は予告なく変更することがあります。
- ・本セッティングファイルに関するサービスは予告なく終了することがございます。あらかじめご了承ください。

免責事項：

- ・本ガイドでご案内する情報に基づく操作により、お客様及びお客様のコンピュータに何らかの損害・問題が発生しても、パイオニアは如何なる責任も負いません。ご利用はご自分の判断・責任の元お願い致します。

セッティングファイルをバックアップする

既存のセッティングを必要に応じて復元できるよう、以下の手順に従ってバックアップを取っておくことをお勧めします。

はじめて「TRAKTOR PRO 2」をお使いになるお客様はこの作業は必要ありません。

1. 画面右上の  (Preference) をクリックする
2. [Preferences] ウィンドウ下の[Export] を選択する
3. バックアップが必要な項目にチェックを付けた状態で [OK] をクリックする

任意の場所にわかりやすい名前(例：BackUp.tsi)をつけて保存してください。



“Serato DJ 以外のソフトウェアを使う”設定にする

本機を「TRAKTOR PRO 2」を操作するコントローラーとして使用する場合は、以下の手順にて“Serato DJ以外のソフトウェアを使う”設定に変更してください。工場出荷時は“Serato DJを使う”設定になっています。

1. USBケーブルをコンピュータから抜く
USBケーブルで本機とコンピュータを接続したままユーティリティ設定を起動させると、設定する状態が正しく表示がされない場合があります。
2. 本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする
本機の電源をスタンバイにします。
3. 左側のデッキの [SHIFT] ボタンと [PLAY/PAUSE ▶/||] ボタンの両方を押しながら、本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押す
ユーティリティ設定モードが起動します。
4. 左側のデッキの [KEY LOCK] ボタンを押す
[KEY LOCK] ボタンが点灯します。
— [KEY LOCK] ボタンを消灯させると“Serato DJ を使う”設定になります。
5. 本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする
設定を保存するには、本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチをスタンバイにして、ユーティリティ設定モードを終了させます。

セッティングファイルをインポートする

ご注意：他のセッティングファイルがインポートされていると正常に動作しないことがあります。その場合、2ページの「セッティングファイルを削除する」をご覧ください。

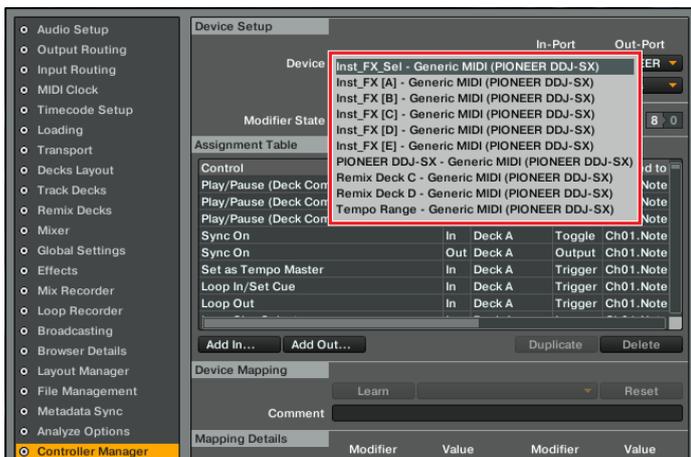
1. セッティングファイルを保存する
ダウンロードしたファイルを解凍し、ご使用のコンピュータに応じて以下の場所に保存してください。
— Windows PC のとき
My Documents¥Native Instruments¥Traktor 2.x.x¥Settings
— Mac OS X のとき
Documents/Native Instruments/Traktor 2.x.x/Settings
2. 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続し、本機の電源をオンにする
3. 「TRAKTOR PRO 2」を起動する
4. 画面右上の  (Preference) をクリックする
5. [Preferences] ウィンドウ下の[Import] を選択する
[手順 1] で保存したセッティングファイル を選びます。
6. [OK] をクリックしてセッティングファイルを読み込む
Audio Device Settings にはチェックが入っていません。チェックを入れた後に [OK] ボタンを押下してください。



ご注意：ご使用のコンピュータにより、セッティングファイルの読み込みにかかる時間がかったり、その後、[Preferences] 画面の動作が重くなる場合がありますが、アプリケーション自体の動作に問題はありません。

7. デバイスの設定を行う

— [Controller Manager] を開き、Device Setup の[Device] の項目が以下のようにになっていることを確認してください。



- ・ 上記以外の項目がある場合は、削除してください。
- ・ 項目に(n/a)が表示されている場合は、その項目を選択し、[In-Port] と[Out-Port] の設定を[PIONEER DDJ-SX] にしてください。

8. オーディオ関連の設定を行う

以下の設定、もしくは確認を行ってください。

(1) Audio Setup

—Windows PCの場合

- Audio Device : Pioneer DDJ_SX ASIO

—Mac OS Xの場合

- Audio Device : PIONEER DDJ-SX Audio Out

(2) Output Routing

- Mixing Mode : Internal

■ Output Monitor :

- L 3: DDJ-SX PHONES L
- R 4: DDJ-SX PHONES R

■ Output Master :

—Windows PCの場合

- L 1: DDJ-SX MASTER L
- R 2: DDJ-SX MASTER R

—Mac OS Xの場合

- L 1: DDJ-SX MASTER OUT L
- R 2: DDJ-SX MASTER OUT R

(3) Input Routing

- Input FX Send (Ext) :

—Windows PCの場合

- L 1: DDJ-SX AUX/MIC L
- R 2: DDJ-SX AUX/MIC R

—Mac OS Xの場合

- L 1: DDJ-SX MASTER OUT L
- R 2: DDJ-SX MASTER OUT R

ご注意：Windows PCの場合、表示が“AUX/MIC”となっていますが、実際はコントローラーの“Master出力”が入力されます。

(4) Mixer

- Level : “Enable Autogain”にチェック

- Headroom : -6dB

ご注意：本機に付属のSerato DJを使用した場合と音量が異なります。

(5) Mix Recorder

- Source : External

- External Input : Input Fx Send (Ext)

9. 一旦「TRAKTOR PRO 2」を閉じ、本機の電源を入れ直したあと「TRAKTOR PRO 2」を再起動する

以上で全ての設定は完了です。

使用上のご注意

■ ご使用の際には必ず本機の電源をオンしてから「TRAKTOR PRO 2」を起動してください。起動の順番が逆の場合、本機で「TRAKTOR PRO 2」を操作できない、または音声が出力されないことがあります。

■ 起動の順番を間違った場合は、一旦「TRAKTOR PRO 2」を閉じ、本機の電源を入れ直したあと、「TRAKTOR PRO 2」を再起動し、「8. オーディオ関連の設定を行う」の内容を再度確認してください。

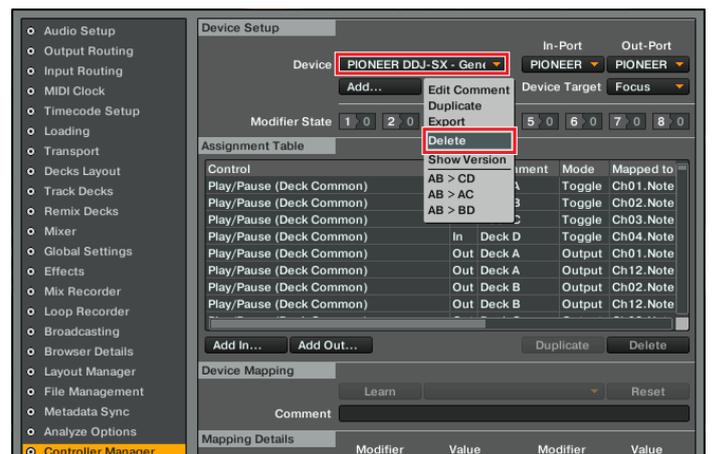
■ 本セッティングファイルは [Deck A/B] がトラック・デッキ、[Deck C/D] がトラック・デッキおよびリミックス・デッキに対応しております。それ以外の設定でのご使用は推奨しておりません。

【補足】セッティングファイルを削除する

1. [Preferences] ウィンドウから[Controller Manager] を選ぶ

2. Device Setup の[Device] から削除するデバイスを選び、[Edit...] から[Delete] を実行する

— 確認画面で[YES]を選択すると、[Device]が“None”になります。



商標および登録商標について

- ・ Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
 - ・ TRAKTOR は Native Instruments 社の登録商標です。
 - ・ Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Mac OS は米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- その他記載されている会社名、商品名、技術名等は各社の商標または登録商標です。

©2013 パイオニア株式会社

禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号